

Bコース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

企業名	全日本自動ドアメンテナンス株式会社			
所在地	東京都足立区千住河原町 11 番 1 号			
業種	サービス業			
常用労働者数	20 人			
事業内容	自動ドア及び鋼製建具の販売及び据え付け工事並びに保全 他			
ホームページ	http://www.doorment.co.jp/			
1 ニーズ調査				
①実施日	令和4年9月2日			
②方法	調査票を都内に勤務する全従業員に配布（手渡し、メール送付）			
③回収率	対象者（都内全従業員）19名のうち回収数19名 回収率 100%（回収数/対象者）			
④調査結果概要	<p>（調査により明らかになった課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について アンケート調査により「介護を経験した経験がある」従業員は全体の32%（6名）で、現在も介護を行っている者はいなかった。</li> <li>・今後の従業員の介護見込みについて 今後5年間のうちに「介護をする可能性がある」従業員は68%、「介護することはない」は32%であった。</li> <li>・就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 介護に関する社内制度の認知状況については、「制度があるかどうか知らない」が68%、「制度はない」16%、「制度があることは知っているが、内容はわからない」16%と、認知できていないと言いき難い状況である。</li> <li>・介護と仕事の両立に関する不安について 介護することに対して「不安を感じている」従業員は69%おり、介護をしながら現在の職場で働き続けられることができるかという質問に対して、「続けられると思う」は0%、「続けられないと思う」8%、「わからない」92%という回答であった。</li> <li>・介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 望ましい働き方として、「介護休業や介護のための短時間勤務などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働き続けながら、介護と仕事を両立する。」という回答が53%、次に「介護が必要な時期は休業制度を利用して自分が介護をして、その後仕事に復帰する」が26%という回答であったが、「今の仕事を辞めて介護に専念する」も16%であった。</li> </ul>			
2 プロジェクトチームの設置及び運営状況				
①設置日	令和4年9月27日			
②メンバー	総計2名（うち都内勤務の従業員1名） （メンバー内訳）役員、従業員			
③運営状況	開催日	開催時間	検討内容	参加者数
	9月27日	10:00～10:30	活動内容及びスケジュールの確認	2名
	9月27日	10:30～11:00	調査結果概要説明、目標案の掲示	2名
	9月27日	11:00～11:30	目標について意見交換、目標確定	2名
3 策定した取組計画（内容及び取組時期）				
令和4年10月～ 定期的に個人面談を実施して、介護休業制度や支援制度の利用についてその必要性を聞き取りにより調査する				
令和4年11月～ 介護休業制度や支援制度について研修会を実施し、社内周知をすることによって休業制度の利用を推進していく				